

磯部 宏(KKR札幌医療センター院長)

(1)「医療安全施策の最近の動向」

諸富伸夫(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室室長)

(2)「医療現場における新型コロナウイルス感染症対策」

坂本史衣(学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院QIセンター感染管理室マネジャー)

(3)「新型コロナウイルス感染症対応から地域の公衆衛生を考える」

永井仁美(大阪府富田林保健所所長)

(4)「診療所からみた新型コロナウイルス感染対策」

中西重清(中西内科院長)

(5)「現場対応の目的から見た検査のあり方」

関谷紀貴(がん・感染症センター東京都立駒込病院感染制御科臨床検査科医長)

7. 医師事務作業補助者－専門職としてさらなる高みを目指して－

座長：西澤延宏(JA長野厚生連佐久総合病院副統括院長)

長島 久(富山大学附属病院医療の質・安全推進部部長・特命教授)

(1)「公立病院における医師事務作業補助者の組織運営体制強化の取り組み」

三木典子(地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院医療業務部係長)

(2)「病院経営で必要とされる新たな分野の人材としての医師事務作業補助者」

木村憲洋(高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科准教授)

(3)「医師事務作業補助者の診療情報管理業務への関わり」

中村雅彦(松本市立病院病院長)

(4)「医師事務作業補助者が医療安全に及ぼす効果」

福田誠司(島根大学医学部附属病院医療安全管理部副部長・教授)

8. 医療における「品質管理」～第三者評価・クリティカルパス・QCサークル活動・PFMからTQMへ～

座長：山口(中上)悦子(大阪市立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部部長・病院教授)

伊澤 敏(JA長野厚生連佐久総合病院臨床顧問)

(1)「質の保証におけるTQM(総合的品質マネジメント)の役割」

中條武志(中央大学理工学部経営システム工学科教授)

(2)「飯塚病院のTQM－これ迄とこれから－」

安藤廣美(株式会社麻生飯塚病院特任副院長)

(3)「TOYOTA WAYによるカイゼンと展開を続けるQCサークル活動」

岩瀬三紀(トヨタ記念病院病院長)

9. タスクシフティングはどこまで進んだか

座長：武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会)

衣笠病院グループ相談役/よこすか地域包括ケア推進センターセンター長)

新木一弘(国立病院機構東京医療センター院長)

(1)「NTT東日本関東病院における医療職の働き方改革について」

亀山周二(NTT東日本関東病院院長)

(2)「Win-win-winの働き方改革となるために」

秋山智弥(公益社団法人日本看護協会副会長)

(3)「医療機関におけるタスクシフティングを進めるための3つのポイント」

斐 英洙(ハイズ株式会社代表取締役社長/慶應義塾大学特任教授)

(4)「働き方改革における事務部門の役割」

中山和則(筑波メディカルセンター病院事務部長)

(5)「医師の働き方改革～医療関係者に求められる変化～」

馬場武彦(社会医療法人ベガサス馬場記念病院理事長)

10. IoT・ビッグデータ・AI時代の医療と介護

座長：神野正博(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長)

小林美亜(和洋女子大学看護大学院設置準備室教授)

(1)「高度情報技術が実装されたヘルスケア環境における意思決定と医療専門職の役割」

尾藤誠司(国立病院機構東京医療センター臨床疫学研究室室長)

(2)「AI・データサイエンスで拓く次世代の医療」

川上英良(千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学教授/理化学研究所)

(3)「レセプトデータを用いた医療の可視化と効率化の試み」

吉村健佑(千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センターセンター長・特任教授)

(4)「看護・介護におけるIoT・ビッグデータ・AIの活用」

小林美亜(和洋女子大学看護大学院設置準備室教授)